

令和5年度 聖母マリアこども園自己評価

A: たいへん良い
 B: 良い
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

1. 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容		意見・改善策
保育・教育目標について	1. 保育教育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	宗教指導主事の研修を受けカトリック園としての教育・保育目標の具体化を図っている。
	2. 目標は、本園及び地域の特色を生かしているか。	A	
	3. 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	4. 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、共通理解を図っているか。	A	
教育・保育について	1. 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	一人一人の興味や関心をクラス保育に取り込み、夢中になって遊び込む姿をイメージして指導案を作成している。 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいて援助・支援を行うように心掛けている。 環境構成を意識してカリキュラム等を作成している。園内研修等を実施し、職員間で情報共有を図っている。 保育教諭等の自己評価を実施し、今年度の反省・気づき等を次年度の改善に生かしていく。
	2. 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。	A	
	3. 環境構成を意識した保育教育やカリキュラムをしているか。	B	
	4. 素材・用具を適切に活用しているか。	A	
	5. 評価結果を基に、保育教育の改善に努めているか。	A	
日時程	1. 一日の流れ（ディリープログラム等）は、現行でよいか。	A	
行事について	1. 行事の種類や実施回数は適切か。	B	コロナ感染症が、5月から5類に移行したことを受け、行事を以前の形態で実施した。園内に感染症等が発生した場合は、延期や人数制限を設けた。 行事当番が中心になって計画を立てている。 予めねらいに沿って参加できるようクラス担任が園児に伝えるようにしている。主体的な保育についての研修を受けて意見交換をしている途中である。 行事実施後、クラスの子ども達の参加状況について評価し次年度の計画に反映するようにしている。
	2. 行事のねらいを計画や実施に十分に生かしているか。	B	
	3. 乳幼児の活動範囲を明確にし、主体的・共同的な活動になっているか。	B	
	4. 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	
	5. 保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	

2. 保育・教育の実践における組織体制と諸条件に関する評価

経営・組織	分掌・体制	1. 能率的、合理的な運営組織になっているか	A	職員の経験年数、資格、希望等を加味して配置、担任等を決定している。 職務分掌、勤務時間、役割分担を明記し、一人一人の職務内容を共有できるようにした。 係については主幹教諭が中心となり偏りが出ないように配慮している。
		2. 職員の配置は適材適所か	B	
		3. 職務内容が明確で協議できる体制になっているか。	A	
		4. 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	A	
	運営	1. 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	予め会議内容について配布し、できるだけ意見をまとめて参加するようにしたが決定できないものは後日、改めて行うようにした。 運営面での課題等にも積極的に話し合いを持つように心がけているが、意見をまとめるには難しい面もある。
		2. 職員相互が夫々全体的な立場を理解し協力や助言を通して施設の運営に関わっているか。	B	
		3. 打ち合わせ、話し合いの回数、時間帯、内容は、適切か。	B	
	年齢別・クラス運営	1. 年齢・クラス別目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A	子どもの実態や成長発達に即し、計画、実践を行っているが、子ども達の姿により柔軟に対応している。 週日案、経過記録簿、クラス日より等子どもの姿、発達に関する記録を残している。 2歳児クラスの経過記録用紙を職員の意見を聞きながら、用紙変更したところ、子どもの姿、指導内容、活動記録、反省など次に繋がり記入しやすくなった。
		2. 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A	
		3. 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。	A	
		4. 特色や集団の個性が表現できる工夫が見られるか。	B	
		5. 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	A	
	保健・安全指導	1. 年齢別・クラス運営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	学校保健安全法を参考にして保健対策を講じている。 感染症が疑われる場合は速やかに家庭に情報提供をし医療機関受診を勧めている。 同一症状で欠席者が1割を超えた場合には保健所の指示を仰いで対策に役立てている。 避難訓練を毎月想定を変えて実施している。不審者対応のため施設を3か所しているが園外保育時の対応をどのようにしていけばよいか結論が出ていない。
		2. 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
		3. 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため家庭への啓発を行っているか。	A	
		4. 乳幼児の安全確保のため家庭・地域・関係機関等との連携を図っているか。	A	

3. 情報発信、開かれた園づくりに関する評価

情報について	1. 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A	重要事項説明書を配布し同意書を収取している。特にブログ等に掲載する写真は名前等が特定できないように気を付けている。	
	2. 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	A	市や関係機関からの公文書は園長、副園長が適切に管理している。	
施設・設備	1. 施設内外・設備の安全点検等を計画的に行っているか。	A	毎月、遊具点検表・事故防止マニュアルをチェックし、安全に配慮している。防犯カメラ、セコム直結非常通報装置を整備し、不審者侵入を防ぐ対応をしている。	
	2. 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	B	不審者侵入に対して一人一人の防犯意識を高める訓練を行っているが、園外保育時の対応には課題が残る。	
	3. 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	B	玄関にホワイトボードを設置し、感染状況などを知らせた。	
	4. 掲示物、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	A	献立表と展示食を設置し、親子の会話の糸口になるようにした。	
経出理納	1. 施設運営経理を適正かつ適切に処理しているか。	A	委託している会計事務所に毎月確認を受けながら出納職員（園長・事務員）が業務を行っている。	
開かれた子ども園づくり	家庭・地域社会との連携	1. 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	C	感染症等の状況を鑑みた結果、制限解除には至らなかった。
		2. 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	A	子育てひろば利用者を対象に助産師によるベビーマッサージや育児相談を実施した。日程は、助産師と相談して決めている。
		3. 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の地域と交流しているか。	B	主幹教諭（子育て支援担当）が地域とひろばの橋渡しの役割を担い回覧等を通じて地域に情報を発信している。
		4. 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	上越祇園祭り時、地域の屋台曳きに参加させてもらい祭りを盛り上げる一役買っている。
	子育て支援の推進	1. 保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	B	3歳児の保護者を対象に市との協賛の「親子コミュニケーション教室」を開催し、子育てについて学んだり悩みなどを話し合ったりする機会を設定した。
		2. 職員による育児に係る「子育て相談」は、充実しているか。	B	学校医、学校薬剤師、こども発達支援センター、地域医療病院、民間のデイなどと連携しモニタリング等で情報交換を行っている。
		3. 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A	
		4. 施設として虐待等の不適切な保育の防止に取り組んでいるか。	A	個人情報、鍵のかかる書庫に保管しUSBの持ち出し等を禁止している。
		5. 個人情報を適切に取り扱っているか。	A	ブログ、他機関への情報提供等に関する同意書を得て提供している。
	情報の発信	1. 園だより・ドキュメンテーション・ホームページ等で園の情報を発信しているか。	A	ドキュメンテーションやホームページのブログの発信を増やし、保護者に園内で生活している子ども達の姿を発信した。
		2. 行事や子育て支援事業等を地域の子育て家庭に発信しているか。	A	子育てひろば利用者の承諾を受けて園のブログに載せたり町内会の回覧を利用したりして園情報や事業内容を発信し参加を呼び掛けた。
	外部評価	1. 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	C	現在、第三者評価を導入していない。
		2. 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	C	保護者の意見等は、おたより帳に記載された内容や職員に申し出があったもののみに対応している状況である。